

— 会 誌 — 一 覧 —

番号	出版年	主な掲載内容	執筆者
1	1960(S35)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（発刊の辞・会長） ・レーダへのミリ波利用 ・カラーレーダによる物標の弁別に関する研究 ・航行安全委員会の印象 ・1960年海上人命安全会議の様相について ・ドイツの新しい無線装置 ・レーダ航法 ・慣性航法装置の解説 ・電波航法研究会事務局報告 ・慣性装置の航海への利用について（訳） ・航海と慣性航法（訳） ・レーダ指示方式の改良について（訳） ・新製品紹介（船用速度計、電波距離測定器、SSB無線電話） 	森田 清 岡田 高 落合 徳臣 若狭 得治 事務局 松崎 光雄 茂在 寅男 庄司 和民 事務局 北川 視朗ほか ” 木村 小一 神戸工業、大洋 無線、安立
2	1961(S36)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（会長） ・コーナリフレクタについて ・ロラン局の現状とロランCについて ・第6回航路標識会議の様相とUSCGでみた電子航法 ・レーダ航法（Ⅱ） ・電波六分儀の解説 ・自動航法におけるラジオセキスタントの用法（訳） ・新製品紹介（救命艇用携帯無線電信装置） 	鮫島 直人 庄司 和民 豊福 滋善ほか 川上 義郎 茂在 寅男 木村 小一 飯島 幸人 東芝
3	1962(S37)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（会長） ・航海用レーダ自動警報装置 ・マイクロ波ビーコン ・1960年海上人命安全会議におけるレーダ航法についての 各国の意見 ・レーダ機器によって決定される映像の特性と航海術上にお ける問題点 ・レーダ映像の誤差とその航海術上の解析 ・ヨーロッパの旅 ・日本無線のコースビーコン ・M.P.F.S（マイクロ波位置決定方式）について（訳） ・船用レーダ15年の歩み 	鮫島 直人 大岡 茂ほか 豊福 滋善ほか 杉野 和衛 茂在 寅男 茂在 寅男 鮫島 直人 日本無線（株） 落合 徳臣 茂在 寅男ほか
4	1963(S38)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（副会長） ・大阪ハーバーレーダ局について ・航法の自動化 ・レーダ観測者の資格について ・人工衛星を用いた航法 ・西独デュッセルドルフにおける国際航法会議 ・ロランCの話 ・海鷹丸の南極洋調査 ・大型船用レーダ（訳） ・Laserによる測距装置 ・新製品紹介（船用レーダ、VHF/MF無線電話、マイクロ波ローカービーコン） 	熊凝 武晴 清野 浩 庄司 和民 真田 良 伊藤 実 鮫島 直人 岡本 寅男 熊凝 武晴 落合 徳臣 飯島 幸人 協立、三菱電機 安立

番号	出版年	主な掲載内容	執筆者
5	1964(S39)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (会長) ・ 誘電体レンズレフレクタについて ・ レーダ・ビーコンの一方式 ・ 英国における「レーダ航法に関する告示」について ・ 甲板部士官として見た船舶の自動化 ・ 熊凝先生の思い出 ・ 自動追尾方式ロラン受信機 ・ 新しい全方向式レーダ反射器 (訳) ・ 定在波条件で使用する DME (訳) ・ The marine radar photoplot system (訳) ・ ジャイロトロンと蠅 (訳) ・ 新製品紹介 (ロラン受信機、短波受信機) 	松行 利忠 落合 徳臣 角 豊三 茂在 寅男 東商大専攻科 松行 利忠ほか 古野電気(株) 木村 小一 鈴木 務 鈴木 裕 庄司 和民ほか 古野、日新電子
6	1964(S39)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (副会長) ・ 「レーダなどに関するアンケート」の結果 ・ 釧路港、大阪港レーダ局について ・ レーザの航海への応用 ・ レーダ航法について ・ 漁業における電波計器の利用 ・ 海上における電波航法の実状について ・ 通信衛星の航行 (訳) ・ ある航海衛星方式の提案とその可能性 (訳) ・ 新製品紹介 (船用レーダ、超広帯域増幅器、ファックス受信機) 	岡田 実 茂在 寅男ほか 山越 芳郎 飯島 幸人 茂在 寅男 色川 元 名越 肇 庄司 和民 木村 小一 安立、日新電子 光電
7	1965(S40)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (副会長) ・ 船用ミリ波レーダ性能と使用実績について ・ デッカシステムと日本の計画 ・ レーダ情報の使用について注意すべき事項に関する 運輸大臣の勧告 ・ 海上人命安全条約 (1960年) にもとづくレーダに 関する規則改正の要点 ・ 第7回国際航路標識会議出席報告 ・ 米国航空宇宙局の航行衛星計画について ・ オメガ航法システム (訳) ・ 長波による相対航法方式 (訳) ・ 新製品紹介 (船舶速度測定装置、ロランC、船用レーダ) 	茂在 寅男 池田 勲ほか 只野 暢 牧田 裕文 嶋本 照夫 余湖 一郎ほか 木村 小一 " " 田辺 穰 安立、沖電気
8	1966(S41)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (会長) ・ ロランC方式についての調査 (簡易方式受信指示器による実測結果についての報告) ・ 漁船におけるレーダなどの利用状況について (調査結果報告) ・ レーダ・トランスポンダ・ビーコンの一方式 ・ 航海設備としてのレーダに関する規定についての私見 ・ レーダ使用船の海難とその考察 ・ 水路測量とその他に使用する水中音響機器の解説 ・ 船舶試運転への電波の利用 ・ オメガと同期衛星のネットワークを使った 精密電子航法システム (訳) ・ ロランC (訳) ・ 新製品紹介 (音波式液面測定装置、マリンロラン) 	松行 利忠 米沢 弓雄 茂在 寅男ほか 小野沢 和雄 庄司 和民 茂在 寅男ほか 今吉 文吉 木村 小一 " " 木村 小一 JRC、東京計器

番号	出版年	主な掲載内容	執筆者
9	1968(S43)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（副会長） ・北海道デッカチェーンの測定試験結果 ・レーダなどに関するアンケートに使われた利用者の意見 ・ロランC及びA信号の駿河湾・遠州灘における 自動追尾受信による船位測定結果 ・操船訓練装置 ・救難用方位測定局の設置について ・ハンバーガーを喰りアメリカの電子航法の動きを知ろう ・海外における電波航法技術と出張報告 ・IMCOの航行安全小委員会に出席して ・電子航法研究所・航行衛星・国際連合 ・電波航法研究会と私 ・操船（艦）盤とレーダプロットングシート（訳） ・ドブラーソナーについて（訳） ・DINADEシステム（訳） ・航空法—その現状報告（訳） ・新製品紹介（ソナー、映像録画再生装置） 	岡田 実 清野 浩 飯島 幸人 稲葉 賢之助ほか 萩野 芳造 萩野 芳造ほか 鈴木 務 庄司 和民 福島 弘 木村 小一 北田 宗一 田辺 穰 庄司 和民 柴田 幸二郎 木村 小一 光電、古野、 JRC
10	1969(S44)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（英文、和文・副会長） ・北海道デッカ測定試験結果（第2報） ・レーダエコーによる船舶の速力測定 ・航海用電子計算機システムについて ・本邦近海のデッカとロランの勢力分布図について ・宇宙平和利用国連会議参加記 ・見張り援助装置（訳） ・レーザジャイロ（訳） 	茂在 寅男 清野 浩 丸川 武志ほか 桜木 幹男 川平 浩士 木村 小一 東京計器㈱ 飯島 幸人
11	1970(S45)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（英文、和文・会長） ・UTM法によるデッカ新使用法 ・船用トランスポンダの評価試験 ・プロットングの自動化とレーダオートプロッタ ・ユーロポート博覧会に参加して ・方位測定器の歴史 ・方向探知器の誤差に対する一考察 ・船舶用方向探知器に対する陸上援助システム ・方向探知に関する法規解説 ・航空用方向探知器の現状 ・方向探知器輸出台数と装備船数の動向 ・ドブラ方向探知器 ・3—30MHz帯の船舶用無線方向探知器 ・船舶用方向探知器について ・海外の方向探知器 ・新製品紹介（方位測定器、方向探知器） 	松行 利忠 安藤 清 吉村 士郎 飯島 幸人ほか 田中 磯一 茂在 寅男 清都 清一 海保・電標課 原田 純蔵 猪子 尚夫 海保・電標課 中島 昭良 平尾 健一 峰谷 清悦 庄司 和民 安立、太洋無線、 光電、古野

番号	出版年	主な掲載内容	執筆者
12	1971(S46)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言（英文、和文・前副会長） ・ 海外の電波標識 ・ オメガ送信局建設計画について ・ 海軍航行衛星システムの測位実験結果 ・ 双曲線航法自動測位の方式 ・ 欧州航法学会連合会出席報告 ・ 第8回国際航路標識会議出席報告 ・ 橋梁及び架空線によるレーダ反射信号の問題（訳） ・ レーダディスプレイ上の海面反射効果（訳） ・ 電波航法研究会会費規定、会誌「電波航法」配布規定、特別会員の資格 ・ 電波航法研究会規約改正（S32.4 制定 S40.5 改正 S46.5 改正） 	森田 清一 只野 暢 清野 浩 木村 小一ほか 飯塚 康雄 茂在 寅男 庄司 和民 豊福 滋善 庄司 和民 会長 会長
13	1971(S46) 20周年 記念号	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言（創立20周年に思う、英文、和文・会長） ・ 電波航法研究会創立20周年によせて ・ 国際センスについて ・ 電波航法と私 ・ 目と耳と口と ・ 電波航法研究会20年の回顧 <ul style="list-style-type: none"> その1 創設時代 その2 電波航法研究会そもそもの話 その3 運輸大臣諮問機関時代 その4 栄光への苦難の道 その5 出版関係 ・ 電波標識の20年 ・ 電波航法装置20年の歴史 ・ 電波航法に関連する基礎電子技術の20年 ・ 航行援助用レーダの20年 ・ オメガ受信機について ・ オメガの受信結果とデータ処理 ・ 航空機用オメガ受信機の研究 ・ 航法システムから見たオメガ受信機設計上の諸問題 ・ 新製品紹介（オメガ受信機関係） 	松行 利忠 森田 清 茂在 寅男 岡田 実 真田 良 松行 利忠 庄司 和民 牧田 裕文 岡田 高 木村 小一 松尾 公夫 庄司 和民 鈴木 務 柴田 幸二郎 関根 兆五 古谷 俊雄 箕原 喜代義 飯塚 康雄 安立、古野、 JRC 、光電、沖、 東京計器
14	1972(S47)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言（英文、和文・副会長） ・ 航海術の歴史 ・ 航空航法の現状と将来 ・ 海洋航海の懐古 ・ 衛星航法とその将来の展望 ・ 電波標識の現状と将来 ・ カルマンフィルタとその航法への応用（解説） ・ 経緯度系と時刻系 ・ 欧米主要空港視察記（せかいのおもなうこうみてあるき） ・ 新製品紹介（衝突予防システム、レーダ衝突予防装置、衝突予防装置） ・ 46年度事業報告（20周年事業を含む） 	庄司 和民 茂在 寅男 岡田 実 篠田 不可止 木村 小一 只野 暢 森田 清 進士 晃 松行 利忠 安立、協立、 JRC

番号	出版年	主な掲載内容	執筆者
15	1973(S48)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言（英文、和文・会長） ・ 救命用ガンダイオード発信器 ・ カソードクロミック蓄積表示管（カソクロ管）とその応用 ・ 水中音による魚群の誘致と威嚇について ・ 衝突防止レーダの現状 ・ 第10回国際水路会議に出席して ・ ロンドンとワシントンに旅して ・ 新製品紹介（精密位置測定装置、船舶用衝突予防装置） 	松行 利忠 飯島 幸人 宇野 喜博ほか 鈴木 裕 木村 小一 川上 喜代四 藤井 弥平 JRC、東京計器
16	1973(S48)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言（副会長） ・ 橋脚標示用トランスポンダの調査結果 ・ レーダによる小物標探知能力向上の一方法 ・ 水深図作成システム ・ オメガシンポジウム ・ べるげん丸同乗記 ・ サンフランシスコ湾の海上交通管制システム ・ 新製品紹介（IHI-DATA BRIDGE システム、ドプラナー、パルスドプラナー、ドプラナー・システム） 	木村 小一 山越 芳郎 松行 利忠ほか 清水 良次ほか 山越 芳郎 茂在 寅男 杉崎 昭生 石川島播磨、 北辰電気、 JRC、光電
17	1974(S49)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言（副会長） ・ ドプラナビゲータによる船の着岸時の運動測定 ・ ユーローポートにおけるデッカシステムについて ・ オスロの船舶自動化シンポジウムに出席して ・ 新製品紹介（衛星航法装置、ドプラナー、レーダレド関係） 	庄司 和民 上野 正司 只野 暢 原 昌三 古野、北辰電気、 JRC、東芝、 石川島播磨、 海上電気、 東京計器
18	1974(S49)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言（改めて本会の使命を考える・会長） ・ 東京湾海上交通情報機構 ・ 航空路管制システム ・ VLF 電波の伝搬 ・ 海洋機器開発の現状と将来 ・ 欧州の航行管制状況見聞記 ・ 「船の科学館」見学記 ・ 船舶接岸速度計の専門部会報告 ・ 新製品紹介（巨大船接岸用超音波装置、船舶接岸速度計、衛星航法システム） 	松行 利忠 只野 暢 妻鹿 栄二 羽倉 幸雄 細井 茂 豊田 清治 茂在 寅男 松行 利忠 東京計器、光電、 山武ハネエル
19	1975(S50)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言（副会長） ・ 大型航行援助用ブイ ・ 欧州における海上航行管制 ・ IMCO 第5回海事専門家パネル出席と欧米旅行記 ・ 海事衛星システムの動向 ・ 新製品紹介（各社のオメガ受信装置） 	木村 小一 和波 衛身 飯島 幸人 鈴木 務 木村 小一 安立、沖、協立、 光電、大洋無線、 東京計器、JRC、 富士通、古野、 山武ハネエル

番号	出版年	主な掲載内容	執筆者
20	1976(S51)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（研究—実用化—実用・副会長） ・航空事故の2, 3について ・ビーム圧縮レーダ ・ケーブル船黒潮丸の航法自動化システム ・日本のオメガ局とオメガ監視システム ・国際海事衛星システム設立のための第1回政府間会議 ・オメガシンポジウム(1975.7.12~13)について ・ノースダコタ局のモード干渉の観測結果について（訳） ・オメガ信号の有効範囲の予測（訳） ・新製品紹介（気象衛星受画装置） 	岡田 実 平栗 元喜 鈴木 務 碓崎 貞雄 豊福 滋善 木村 小一 庄司 和民 森脇 憲治 〃 JRC
21	1977(S52)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（創立25周年にあたって・副会長） ・船橋シミュレータ JAT-34 NBS ・IHI 操船シミュレータ ・タービンシミュレータによる機関部の操作訓練 ・航空機衝突防止装置開発の現状 ・Active BCAS の研究経過と今後の課題 ・海上交通シミュレーション ・フランスにおけるディファレンシャルオメガの実験と開発計画（訳） ・マイクロオメガの実験結果について（訳） ・国内航空交通管制とディファレンシャルオメガ（訳） 	庄司 和民 安田 義則 西岡 敏孝ほか 石谷 憲一郎 船津 忠平ほか 岡田 昂三 杉崎 昭生 森脇 憲治 〃 森脇 憲治 〃
22	1977(S52) 25周年記念 双曲線航法 発刊	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（創立25周年にあたって・会長） ・FM ビート方式による双曲線航法システム ・レーダ・アスペクタの研究 ・自動航海システム”TONAC”について ・レーダリフレクタの研究 ・海洋動物の電波テレメトリシステム ・ソ連のコスモス計画中の航行衛星システムの識別（訳） 	松行 利忠 鈴木 務ほか 飯島 幸人ほか 原 昌三 古田島 博 相馬 正樹 木村 小一
23	1978(S53)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（会長に就任して・会長） （会長を退任して・前会長） ・電波航法研究会の歩み ・航空航法の将来 ・航海の将来 ・日本及び米国における航空機衝突防止装置の開発 ・レーダ航法における避航と危険度 ・救難用レーダビーコン ・捜索用ラジオブイの開発 	茂在 寅男 松行 利忠 松行 利忠 安積 健次郎 庄司 和民 岡田 和男 今津 隼馬 木村 貴則ほか 長町 耕一
24	1978(S53)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（副会長） ・船舶用レーダの型式検定の現状 ・新方式による小型レーダ ・オメガモニター局における受信データの解析結果 ・航路標識測定船「つしま」について ・船舶用レーダビーコンとトランスポンダの最近の動向 ・Scheldt 水路訪問記 ・オメガ受信機の技術基準に関する専門部会について 	木村 小一 渡辺 重雄ほか 原 通夫 電波標識課 〃 木村 小一 飯島 幸人 事務局

番号	出版年	主な掲載内容	執筆者
25	1979(S54)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (副会長) ・ 近距離航行援助システムの精度についての一つの考え方 ・ 海洋エネルギーの利用について ・ オメガ受信機の技術基準とその対応について ・ 北米および欧州における航行安全システムに関する調査 	今吉 文吉 飯島 幸人 今津 隼馬 塚田 一雄 北里 賢二ほか
26	1980(S55)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (会長) ・ ロランC電波による時刻及び周波数の比較 ・ 電波によるリモートセンシング ・ 航空・海上技術衛星計画の概要 ・ NAVSTAR/GPS の展望 ・ ヨーロッパにおける橋梁下航行援助施設 	庄司 和民 小野 房吉 鈴木 務 渡辺 康夫 木村 小一 庄司 和民
27	1981(S56)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (副会長) ・ オメガの修正 PPC 評価結果の概要について ・ オメガ受信機性能試験装置 ・ ISO/TC8/SC18 パリ会議に出席して ・ 第10回国際航路標識会議とその電波航法のセッションについて ・ IALA 第10回会議 MARINE TRAFFIC SERVICE 部門の報告 	木村 小一 阪上 幸彦 安藤 清ほか 庄司 和民 木村 小一 飯島 幸人
28	1981(S56) 30周年 記念号	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (30周年を迎えて・会長) ・ 若き友へのすすめ ・ 海洋開発の現状 ・ 電子航法年の歩みとその将来 ・ 漁船計器の歩みとその将来 ・ 電波標識の最近の動向 ・ 海難救助システムの現状と将来 ・ 電波航法研究会30年史の年表 	庄司 和民 岡田 實 黒木 敏郎 飯島 幸人 鈴木 裕 山越 芳郎 豊福 滋善 事務局
29	1983(S58)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (副会長) ・ 情報のデジタル化とその将来 ・ 船の自動化と将来動向 ・ 航空電子技術のあゆみ ・ VLBI と日米共同実験 ・ 宇宙開発のこと ・ 戦後の電波技術は船舶から、一技術者の回想 	鈴木 裕 森田 清 唐沢 康人 久木田 実守 吉村 和幸 立野 敏 津田 圭一郎
30	1984(S59)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (副会長) ・ 電気機器の磁気コンパスの安全距離 ・ ウェザールーティングにおける諸問題 ・ データ収集システム (DCS) と漁業への応用 ・ 慣性航法装置について ・ 新製品紹介 (運航データ管理システム) 	木村 小一 鈴木 裕 萩原 秀樹 鈴木 務 高橋 健 大脇 利清
31	1985(S60)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (会長) ・ 私と電波航法との出会い ・ レーダの使用状況について ・ 世界の船舶交通管理システム ・ 因島大橋船舶動静探知レーダ ・ 船舶レーダによる波浪 (波向、波長、波速、波高) の観測と波浪レーダの開発 ・ 東京湾海上交通センターの業務概要 ・ 将来の地球的規模の海難救助安全システム ・ 最適航海計画システム、GPS 航法装置とその評価試験 	鈴木 裕 庄司 和民 鈴木 裕 藤井 弥平 小野沢 和雄ほか 萩野 芳造 奥山 隆士 濱路 和明 三菱重工業、JRC

番号	出版年	主な掲載内容	執筆者
32	1986(S61)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言（副会長） ・ 航法衛星などによる国際時刻比較について ・ 航空管制における音声認識技術の応用について ・ 出入港自動化に関する一考察 ・ デリバリーナビゲーションシステム ・ 音声認識技術とその動向について ・ 時間標準の現状 ・ 戦艦「大和」探索 ・ 水路部における天文時刻観測 	飯島 幸人 吉村 和幸ほか 東福寺 則保ほか 翁長 一彦 福原 裕成 橋本 清 佐分利 義和 遠藤 保彦 佐々木 稔
33	1987(S62)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言（副会長） ・ ロランCシステムの高精度利用 ・ 双曲線航法の電波伝搬誤差 ・ 振動ジャイロ技術とその応用および今後の動向 ・ アダプティブオートパイロットによる省エネルギー効果 ・ 航海機器の国際標準化の動向 ・ 電子海図の現況 ・ 船舶用アンテナについて ・ インマルサット衛星利用による海事通信システムと その船舶搭載用アンテナ ・ ETS-V を用いた航行援助実験計画 	木村 小一 小野 房吉 渡辺 泰夫ほか 佐藤 一輝 高橋 信彦 飯島 幸人 岩佐 欽司 高橋 恵 山田 松一 西 周次
34	1987(S62) 電波標識 60 周年記念号	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言（電波標識課長） ・ 回転無線標識と私 ・ 電波航法と僕 ・ ロラン局建設の思い出 ・ 昭和 33 年・35 年の電波標識課の活動を回顧して ・ その頃の思い出 ・ オメガシステムへの参加 ・ オメガ局の建設 ・ 東京湾海上交通情報機構 ・ 最近の電波標識の整備及び電波標識に関する国際協力について 	田中 仙治 岡田 實 松行 利忠 堀江 義雄 森田 實 石川 晃夫 清野 浩 只野 暢 豊福 滋善 山越 芳郎
35	1988(S63)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言（会長） ・ 安全な航空を支える電子航法 ・ 超伝導センサーについて ・ 移動体衛星通信の各国の動向と今後 ・ 最近のディスプレイについて ・ 海洋ロボットへの胎動 ・ 新製品紹介(GPS 受信機) 	鈴木 裕 米本 恭二 関根 松夫 大森 慎吾 小島 健博 望月 光宣 横河ナビテック
36	1989(H1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言（会長） ・ 海水とその境界面における電波の伝搬 ・ カラー魚群探知器の発明 ・ 電子海図に関する IMO の最近の動向 ・ 船内統合エキスパートシステムについて ・ 船体状態監視評価と姿勢制御の自動システムについて ・ ファジィ理論を応用した避航航路計画システム ・ 知能化船における狭水域航行システムについて ・ 座礁予防システムについて ・ 自動離着岸システム 	飯島 幸人 石毛 龍之介 田中 磯一 庄司 和民 葛西 宏直 山口 雄三 山本 敏雄ほか 永田 至孝 外岡幸吉 吉久 英昭ほか

番号	出版年	主な掲載内容	執筆者
37	1990(H2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (会長) ・ IMO における最近の話題 ・ PIANC (国際航路会議) に出席して ・ ION GPS-90 に出席して ・ 海洋における音響技術 ・ 海洋音響トモグラフィーについて ・ デジタルインターフェースの現状について ・ IEC におけるデジタルインターフェースの規格化の動向について ・ 自動車の情報化に関するマンマシン・インターフェース ・ 衛星航法システムの現状と将来について 	飯島 幸人 庄司 和民 飯島 幸人 木村 小一 土屋 利雄 中埜 岩男 渡辺 健 横井 行雄 遠藤 寛 木村 小一
38	1996(H8)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (電波航法研究会の過去から未来へ・会長) ・ ロランCシステムの校正 (チェーンキャリブレーション) について ・ リアルタイムキネマティック GPS 測位 ・ 航海システムの最近の国際動向—IMO NAV 4 1 回会議より ・ 極東海域におけるロランC国際協力チェーンについて ・ 電子海図をめぐる最近の動向 ・ 電子海図に関する技術の動向 	鈴木 務 川崎 日出樹 林 忠夫 飯島 幸人 塩山 壽男ほか 庄司 和民 片山 瑞穂
39	1996(H8)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (電波航法の未来のために・会長) ・ 名古屋港 VTS のレーダー監視システム ・ 名古屋港における船舶通航監視システム —画像処理技術の応用— ・ 進入・着陸用航法性能要件と DGPS 飛行実験について ・ 音声認識技術の航海支援への応用 ・ 音声認識の現状と課題 ・ 1994 年レーダとイメージセンサーにおける雑音とクラッタ除去に関する国際会議報告 ・ 第 42 回航行安全小委員会の報告 	鈴木 務 松代 寿治 大崎 英二 惟村 一宜 金丸 英幸 樽松 明 関根 松夫 今津 隼馬
40	1997(H9)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (クローン航法・会長) ・ 空港面誘導と管制について ・ 海上保安庁のディファレンシャル GPS について ・ VICS のスタート —カーナビから VICS へ、そして ITS— ・ 航法性能要件 (RNP) について ・ 電波を用いた地震予知 ・ GLONASS の現状 ・ 第 8 回国際 VTS シンポジウムについて 	鈴木 務 石橋 寅雄 西田 之重 小嶋 弘 長岡 栄 早川 正士 北條 晴正 山越 芳郎
41	1999(H11)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 (航法と生活・副会長) ・ IMO NAV44 について ・ 船舶自動識別システム ・ ICO サービス実用化の現状と展望 ・ 統合ブリッジシステム (IBS) について ・ ECDIS の現状と今後 ・ RNAV 機の航法精度の評価 	今津 隼馬 〃 高野 洋 柏原 修一 高山 仁ほか 小山 武信 天井 治ほか

番号	出版年	主な掲載内容	執筆者
42	2000(H12)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（電波航法の値段と民営化・会長） ・成層圏無線中継システムの実用化にむけて ・動き出した「ITS」とフロントランナー「VICS」の進展 ・「解説」飛行船型成層圏プラットフォームの研究開発 ・SOLAS 条約第V章改正 ・国際宇宙ステーション計画 ・メガフロートにおける計器着陸システムの実験 	鈴木 務 竹内 芳明 青木 和之 恩田 昌彦 今津 隼馬 堀川 康 横山 尚志
43	2002(H14) 50周年 記念号	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（50周年によせて・会長） ・50周年によせて 一歴代会長の随想一 ・記念講演 「電波航法の揺籃期」 「VTSにおけるAISとのマッチングと表示に関する研究報告」 「新しい航法（パネルディスカッション）」 ・講演の記録（2000～2001） 「AIS 海岸局ネットワーク 船舶情報サービスへの導入」 「Voyage Data Recorder(VDR)の要件について」 「レーダデータによるGPS装備機の航法精度の推定」 「海上保安庁が運用するディファレンシャルGPSの現状について」 ・寄稿 一役員等からの随想一 ・電波航法研究会 事業報告 ・電波航法研究会 50周年記念事業について ・おわりに（電波航法研究会との関わり・副会長） ・研究会記事 一50周年の歩み（資料編）一 	今津 隼馬 茂在 寅男 庄司 和民 鈴木 裕 飯島 幸人 鈴木 務 廣田 直照 水城 南海男 林 正吾 三輪 勝二 松野 達夫 池田 保 西村 浩一 田邊 幸司 片山 瑞穂 天井 治 宮本 茂樹 木村 小一 鏡 敏弘 増田 恵 萩野 芳造 豊福 滋善 福戸 淳司 乙津 祐一 事務局 // 長岡 栄 事務局
44	2003(H15)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭言（これからも・会長） ・渡り鳥とレーダー ・電子基準点を利用したリアルタイム測位 ・RTK-GPSを用いた大型船の入港支援 ・空のAIS 一航空における通信・監視システム一 ・IT化時代に向けた海上通信の高度化 ・ミリ波・サブミリ波の新しい応用 ・標準時の国際的な仕組みと正確さと利便性の向上に向けた取り組み 	今津 隼馬 吉井 正 松村 正一 織田 博行 長岡 栄 鈴木 務 渡辺 康夫 今江 理人

番号	出版年	主な掲載内容	執筆者
44	2003(H15)	<ul style="list-style-type: none"> 世界測地系とナビゲーション 特別講演 The Loran Integrity Performance Panel Present and Future Modernization of Loran Transmitter Site Equipment ILA (国際ロラン協会) 会議に参加して (アメリカの憂鬱 (GPS 脆弱性の解消に向けて)) おおかたどや山 標準電波送信所 (通信総合研究所) を見学して 電波航法研究会事業報告 (平成 13 年度) あとがき (新しい電波航法の時代へ・副会長) 	千石 新 Mr. Erik JOHANNSEN 池田 保 廣田 直照 事務局 林 尚吾
45	2004(H16)	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭言 (望まれるシステムのために・会長) 海流について—海洋短波レーダーによる海流観測— 衛星航法システムGPS/WAASの現状 実験用ヘリコプタによるDGPS測位精度評価 GPSによる測量船の高精度な高さ測定 AISクラスBの動向 伊勢湾海上交通センター運用開始 海底プレート境界での近く変動観測 Our products of Long Range Tracking & Ship Security Alert System 長波標準電波を利用した高安定発振器 伊勢湾海上交通センターを見学して 電波航法研究会事業報告 (平成 14、15 年度) あとがき (副会長) 	今津 隼馬 寄高 博行 坂井 丈泰 奥野 善則 矢吹 哲一郎 武田 健司 藤田 雅之 伊藤 功 甲田 正夫 奈良 豊勝 事務局 田中 仙治
46	2005(H17)	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭言 「第 11 代会長・就任挨拶」 航海用電子海図(ENC)提供方法の変更 A I S 陸上局の整備状況 I C タグの現状とその応用 24GHz帯マイクロ波モジュールの応用について 第33回国際ロラン協会 東京総会 および シンポジウム A I S シンポジウム開催報告 特別研究会 in 八丈島 電波航法研究会事業報告 (平成 16 年度) 	林 尚吾 久保 良雄 武田 健司 秋山 泰平 松野 達夫 池田 保 事務局 服部 理 事務局
47 ・ 48 合併	2006(H19)	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭言 「夢」 地震に伴う電磁気現象と地震予知の可能性 DGNSSを取り巻く世界動向 海洋ブロードバンドを用いた船舶の運航管理 高速移動体向け高精度測位補正技術に関する研究開発 (その 2) PLC (Power Line Communication) の概要 高速PLCの概要と当社の取り組み」 種子島宇宙センター及び種子島灯台見学特別研究会に参加して 電波航法研究会事業報告 (平成 17 年度・18 年度) 	林 尚吾 早川 正士 浜岡 洋介 庄司 るり 伊藤 憲 徳田 正満 森田 淳士 田中 仙治 事務局
49	2007(H20)	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭言 「フーコーの振り子」 E-NavigationをめぐるIMOの動向 e-Navigationとe-LORAN 固体化増幅器用電力FETの開発状況 パルス圧縮レーダの開発実績 	林 尚吾 田淵 一浩 池田 保 石村 浩 三輪 勝二

番号	出版年	主な掲載内容	執筆者
49	2007(H20)	<ul style="list-style-type: none"> ・ SOLAS 船舶向け S バンド固体化レーダの研究開発 ・ Lloyd's Marine Intelligence Unit社における AIS ネットワークサービスの概要 ・ AIS を利用した港湾サポート ・ 航路標識における AIS の活用 ・ e-navigation に関する公開シンポジウムに参加して ・ 特別研究会 in 釜山 ・ 電波航法研究会事業報告 (平成 19 年度) 	須藤 正則 古住 洋介 田名後 祥子 遠山 修 事務局 事務局 事務局
50	2008(H21)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 「仮想水と GPS」 ・ MEMS 技術・デバイスの最近の動向 ・ マルチ出力 MEMS 慣性センサ ー 浮上・回転型 MEMS マルチ出力慣性センサー ・ インマルサットおよび イリジウムサービスの現状と今後について ・ ワイドスターの現状と今後について ・ 高速移動体向け高精度測位補正技術に関する研究開発(その3) ・ 韓国航法学会ワークショップに参加して ・ GPS のバックアップの必要性明示 米国電波航法計画 2008 年版 (2008FRP) ・ 電波航法研究会事業報告 (平成 20 年度) 	林 尚吾 江刺 正喜 中村 茂 大野 和美 西 泰樹 伊藤 憲 長岡 栄 池田 保 事務局
51	2009(H22)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 「ミケランジェロの時代から…」 ・ LRIT の現状と今後について ・ AIS-Space…Contributing to global safety and security ・ 月周回衛星「かぐや」の状況とミッションを支える通信技術 ・ 国際 VHF 無線電話について ・ 小型船用マリンレーダの紹介 (MDC-900 シリーズ) ・ 小型漁船救急支援連絡装置「救急コール」と データ通信機能付き新型 DSB 無線機 ・ 大中型プレジャーボートに最適！ ネットワーク対応、最新鋭航海電子機器 ・ ENC の世界的な状況について ・ 航海用電子参考図 new pec について ・ EFB の現状と展望 ・ AIS の高度利用に関するシンポジウム開催報告 ・ 特別研究会 in 国立天文台野辺山 ・ 電波航法研究会事業報告 (平成 21 年度) 	林 尚吾 粟井 次雄 George T. Best 星野 宏和 入山 政夫 田澤 健一 伏間 圭 藤原 啓修 清水 敬治 佐々木 稔 鈴木 良一 事務局 事務局 事務局
52	2010(H23)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭言 「研究のエネルギー」 ・ 航空管制用レーダについて ・ X 帯船舶用固体化レーダーの開発 スプリアス低減技術について ・ 「第 17 回 IALA 総会」に参加して ー 航路標識分野における国際的・技術的動向ー ・ 雷害とその対策 ・ RFID 物流応用の現状と今後 ・ 海上安全管理のための IT 技術の応用 ・ 東京海洋大学海洋工学部 先端ナビゲートシステムの紹介 ・ 特別研究会 高エネルギー加速器研究機構 及び産業技術総合研究所の紹介 ・ 電波航法研究会事業報告 (平成 22 年度) 	林 尚吾 古賀 禎 沢柳 雅哉ほか 野口 英毅 柳川 俊一 粟本 繁 具 滋永ほか 庄司 るり 事務局 事務局

53	2011(H24)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻 頭 言 「空想物語－西暦 2037 年－」 ・ Vessel Traffic Management (VTM) について －その誕生、成長そして終焉－ ・ 航空交通管理 (ATM) について ・ 新しい ENC 製品仕様 S-101 の開発状況 ・ 電子海図 (ENC) の国際動向について ・ 車々間通信による衝突事故防止に向けて ～高密度端末環境でのアクセス方式の提案～ ・ 地震予知研究の現状と VLF/LF 電波を用いた地震予測の実用化 ・ 津波に対するレーダ観測活動の調査 ・ 船舶用レーダー波浪観測装置 ・ 特別研究会 宇宙航空研究開発機構相模原キャンパスの見学 及び講演 小型ソーラー電力セイル実証機「IKAROS」の聴講 ・ 電波航法研究会事業報告 (平成 23 年度) 	<p>林 尚吾 野口 英毅</p> <p>長岡 栄 菊池 眞一 小森 達雄 三浦 龍 小花 貞夫 早川 正士 渡辺 康夫 平山 圭一 馬場 満徳 事務局</p> <p>事務局</p>
54	2012(H25)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻 頭 言 「教えない教育」 ・ マルチ GNSS の動向と我が国の取り組み ・ ソフトウェア GNSS の開発と周辺 ・ 準天頂衛星「みちびき」の L1-SAIF 信号 ・ 海洋レーダの原理及び海洋レーダの利用による分野 ・ 津波に対するレーダ観測活動の調査 (その 2) ・ 特別研究会 防衛省技術研究本部電子装備研究所の見学 ・ 臨時研究会 次世代 AIS 国際標準化のためのワークショップの パネルディスカッション参加報告 ・ 電波航法研究会事業報告 (平成 24 年度) 	<p>林 尚吾 安田 明生 久保 信明 坂井 丈泰 古川 恵太 渡邊 康夫</p> <p>事務局 事務局</p> <p>事務局</p>
55	2013(H26)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追 悼 「第 5 代会長 故 茂在 寅男 先生」 ・ 追 悼 「第 9 代会長 故 鈴木 務 先生」 ・ 巻 頭 言 「これからの電波航法技術は？」 ・ 可視光通信 ・ 灯火を活用した新たな情報提供に関する調査研究 －海上保安試験研究センターの可視光通信への取組み－ ・ 電波航法と宇宙天気 ・ 北極海航路における航法システムの現状 ・ 北極海航路の展望と課題 ・ 特別研究会 東京大学大気海洋研究所の見学 ・ 臨時研究会 次世代 AIS 国際標準化のためのワークショップ講 演及びパネルディスカッション参加報告 ・ 電波航法研究会事業報告 (平成 25 年度) 	<p>林 尚吾 林 尚吾 長岡 栄 春山 真一郎 長野 浩樹</p> <p>石井 守 高木 雄太 市川 吉郎</p> <p>事務局 高木 雄太 事務局</p>